

32

日本社会薬学会 第32年会

会期 平成25年10月13日(日)、14日(月・祝)

会場 昭和薬科大学(町田市)

テーマ

高齢・多死社会において 社会薬学の果たす役割とは

プログラム

特別講演

『病院の世紀から地域の世紀へ』

猪飼周平(一橋大学大学院社会学研究科 教授)

『医薬品の安全性に関する取り組みと課題

—医薬品の評価情報基盤と人材育成に向けて—』

山本美智子(昭和薬科大学 教授)

招待講演

『私とオリンピック—これからの夢—』

松島美菜(日本大学薬学部 5年)

シンポジウム

薬学生と薬剤師の未来を拓く英語力

薬学生が考える薬学教育

障がい児・者の薬学的管理の必要性

—重心施設における病棟加算算定へ向けて—

在宅緩和ケアの推進と課題

社会薬学教育の推進に向けて—私たちの教育実践—

—一般演題(ポスター)—

年会長 串田一樹

昭和薬科大学
ウェブサイト
後援

公益社団法人
一般社団法人

医薬情報評価教育 串田研究室

<http://shayaku.umin.jp/32nenkai/index.html>

東京都薬剤師会、公益社団法人神奈川県薬剤師会
日本在宅薬学会

Touyama
© ryuoyama

